

井原忠政の
三河雑兵心得
シリーズ

百姓の茂兵衛が
新米足輕から
出世していく
戦国成り上がり
物語

伊賀流
足輕
小頭
鉄砲
大目
仁義
義経
足輕
小頭
鉄砲
大目
仁義
義経

舞臺は
一向一揆に
揺れる三河国

父を亡くした
17歳の茂兵衛は
長男として一家
を支えていたが
暗喩のはずみで
人を殺してしまう

村を出奔した茂兵衛が
拾われたのは、
家康の家来ながら
一揆側についた
夏目次郎左衛門

のっけから謀反と
なり、不安しか
ないのだが

時は戦国

一揆側
夏目次郎左衛門の
謀反により、
家康の足輕と
なることに

そんな茂兵衛を通して
伝わってくる
『家康に仕える』
という体験

おい
茂兵衛

つまり、
上司たちはみんな
あの超有名
徳川家臣団
である!!!

三河雑兵心得
紹介漫画② 井原忠政

漫画：わこ

双葉文庫